

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和3年10月10日 NO.61

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

令和2年度決算

庁舎・病院建設本格実施

新型コロナウイルス感染症対策関連事業実施で

181億1228万円の歳出決算

9月定例会は、3日から16日まで開かれました。令和2年度の決算数値は、表のとおりです。

歳出総額は、181億1228万円で昨年度の決算と比べて、28億4723万円（18.7%）の増となりました。

一般会計（20.2%）特別会計（5.3%）病院事業会計（84.3%）増となっております。全体としては、新庁舎・新病院の建設と高額の寄附金受領が、決算額が増額した大きな要因です。

実質収支比率など財政指数はかなりの改善されています。**地方債（借金）**の令和2年度末現在高は、約

128億円（合併時は220億円）で昨年度より4億円程度の増となりました。要因は庁舎建設や災害復旧の関係によりですが、今後も増加が見込まれ、可能な限り町債の発行を抑制し健全な財政運用を行うことが必要です。

基金残高（定期預金）の総額は110億6千万円余りと昨年より4億3千万円程度増加しています。財政調整基金残高は46億6千万円で若干の減少。財政の弾力性を示す**経常収支比率**は77.3%と昨年度より▲4.8%減少となった。交付税の額の増加と4億円の寄附が率の改善に繋がった。

区分	H27年度	R2年度
基準財政需要額	54億1900	58億1746
標準財政規模	69億2915	62億4628
財政力指数	0.217	0.209
経常収支比率	75.3%	77.4%
公債費比率	6.5%	3.6%
実質公債費比率	8.2%	5.7%
地方債現在高	130億5759	124億3338
基金残高	107億3962	106億1014

令和2年度会計別収支表

（単位：万円、%）

会計名	令和2年度				
	予算現額	歳入歳出	歳入歳出	翌年度繰越	差引残額
一般会計	156億0732	145億0861	134億2643	4億4989	6億3230
国民健康保険	10億9339	10億8358	10億3030		5328
特 後期高齢者医療	3億5940	3億5932	3億5854		79
介護保険	18億8887	18億9140	18億5082		4058
簡易水道事業	2億7608	2億8240	2億5945		2295
飲料水供給施設事業	4386	4388	3686		701
農業集落排水事業	2億9292	2億9448	2億7703		1745
総合開発事業	180	18	18		
分収育林事業	10		5		
計	39億5643	39億5528	38億1323		1億4205
企業会計	病院事業会計	8億8482	8億7263	8億7263	
合計	204億4857	193億3652	181億1228	4億4989	7億7435

一般会計では、次年度執行の4億5千万円（約21事業）を除いた繰越額6億3千万円のうち3億2千万円を財政調整基金に積立て（6月1日）残り3億1千万円が令和3年度への繰越金として活用されます。

歳入合計は、前年度対比では、25億7千万円の増です。

歳入は、前年度対比では、25億7千万円の増です。

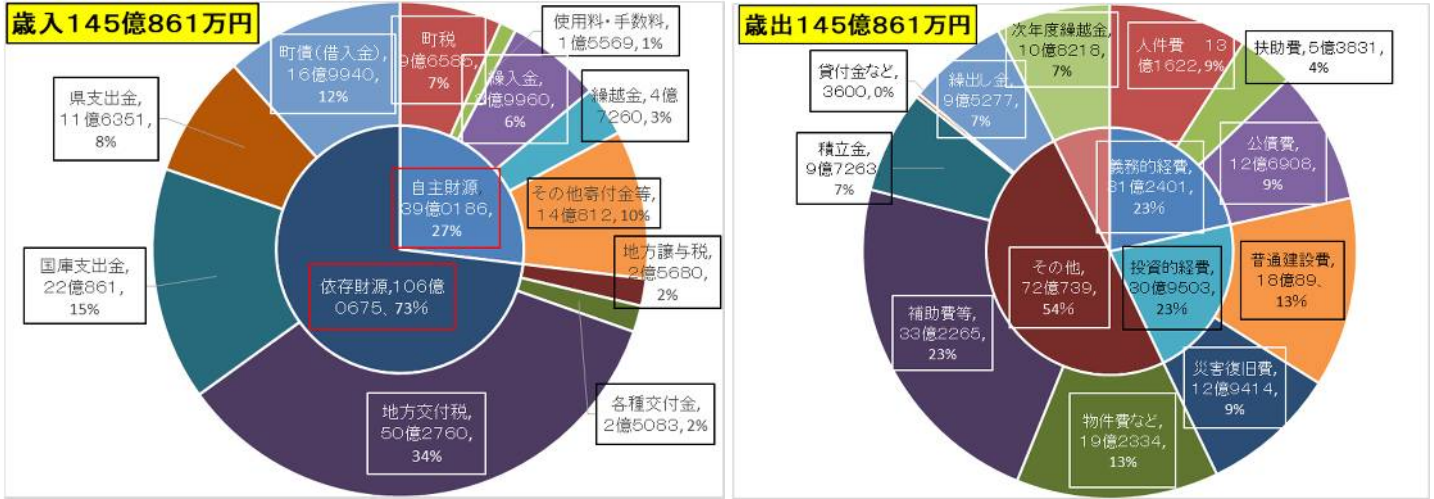
歳出では**義務的経費**の

人件費が制度変更で5300万程度の増、公債費3300万円増。

投資的経費は23%増全体で30億程度の建設事業を実施。

その他経費では物件費補助費がコロナ関連で大幅に増となりました。

平成2度一般会計歳入歳出表



令和3年度予算会計別総括表				
会計名	令和3年度			摘要
	7月補正後予算	9月補正	9月補正後予算	
一般会計	124億3786	7億3679	131億7465	
国民健康保険	11億0727	204	11億0931	人件費80、県清算金124
後期高齢者医療	3億7288	119	3億7407	広域連合負担金16、繰出金103
介護保険	18億8047	5562	19億3609	シムヒア油木補助事業5,530
簡易水道事業	3億3042		3億3042	施設維持838、委託料▲888
飲料水供設事業	4200	371	4571	施設維持271
農業集落排水事業	2億4819	800	2億5619	施設維持800
分収育林事業	370		370	
総合開発事	170		170	
特別会計計	39億8663	7056	40億5719	
病院事業会計	27億2940	3107	27億6047	政策医療交付金3,029
合計	191億5389	8億3842	199億9231	
特別会計+病院事業会計	67億1603	1億0163	68億1766	

9月補正

主なものは、各種補助金の追加、新庁舎移転に伴うもの、企業版ふるさと納税関連、三和小学校法面工事、コロナウィルス関連、先般の秋雨前線災害復旧事業などです。

条例制定など

- <財産の取得>
 - 町立病院建情報システム (電子カルテ)
 - 金額 1億5180万円
 - 請負者 日本事務器(株)
 - 納期 ~R4.4.30
 - 町立病院全身用CT 1- 外断層撮影装置 (CT)
 - 金額 3833万5千円
 - 請負者 (株)ミーム
 - 納期 ~R4.3.25

令和3年9月一般会計補正予算

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	10	7747	職員手当
総務費	1億1152	34億6199	庁舎管理(太陽光精算)1,527、企業版ふるさと納税活用事業(Pワソコ)3,000(空飛ぶ医療団)5,000、地域活性化事業委託(コナ)99.三和協働支援センター委託料(夜間・休日)20
民生費	1341	19億3032	コスモス苑裏排水工事247、児童福祉過年度国庫返還583
衛生費	3724	26億1801	予防接種182、飲料水確保(ホーリング2件)100、病院会計(政策医療交付金)3,099、簡水会計繰出し▲300、飲料水供給会計271
農林水産費	891	7億5735	新規就農者支援96、有害鳥獣(サル困い罍・時安)160、農業生産団体育成225、畜産施設整備207、ひろしま山の日県民の集い委員会経費30
商工費	2657	1億7184	事業継続・雇用維持支援(コナ対策)1,545、観光団体など育成(コナ)950
土木費	1740	6億3936	町道維持補修1,100、道路維持220、河川維持400
消防費	740	4億3059	豪雨災害対策200
教育費	3174	6億9959	三和小学校通学路法面624、三和小学校プール法面改良2,353
災害復旧費	4億7867	6億2503	現年発生農地農業施設復旧1億5,499、現年発生林道災害復旧5,299、現年発生道路橋梁災害復旧2億7,069
公債費		13億8634	
諸支出金	384	3億3676	森林経営管理推進基金積立384
予備費		4000	
合計	7億3680	131億7465	※内新型コロナウイルス感染予防対策予算額は3億2,715万円です

<指定管理者の指定>
 施設の名称 町立神石へき地診療所
 施設管理者の名称 一般社団法人 風鈴(フレイ)
 指定の期間 R3.10.1~R4.3.31

<人権擁護委員の推薦>
 氏名 滝川 浩さん
 米山 文子さん
 松岡 純夫さん
 瀬尾 信明さん
 任期 法務大臣が委嘱した日から3年間

「路線バス再編」への対策は

(株)中国バスの「路線バス」が令和3年10月1日から7路線のうち4路線が廃止され3路線となった。

町の説明では、バス路線再編については、令和3年3月8日には、中国バスが中国運輸局広島運輸支局へ路線廃止を提出されており、すでに受理されている。年間4千万円の赤字補てんを行っておりやむを得ないと判断した。との事でした。

廃止される4路線は、確かに利用者が少ない路線であることは統計からも間違いのない現実ではありますが、高校生の利用する路線(・高蓋～上井関～福山駅、・油木～高蓋～福山駅)も含まれており、廃止による影響は少なくない路線であります。

また、「西回り東城線」が全面廃止となり、神石、三和とくに高蓋地区の住民にとっては府中金丸方面への生活道路としての重要な路線バス利用が出来なくなるという現実にも直面します。

また、この度新庁舎・新病院を新設し本町の拠点地区・核となるべき小島地区から福山市、府中市への直接バス路線が皆無となります。本町の町民にとっては、考えられない事態であります。

町として、この現実には直面し、住民の皆様の公共交通手段の確保に向けて、

- ①バス路線再編計画の情報を得たのちにどのように対応されたのか。
- ②中国バス側の対応はどのようなか。また、
- ③今後はどのような対応策が考えられ、どうされるのか。



秋の川井谷溪谷
(新市七曲西城線)

入江町長

利用者の減少により慢性的赤字傾向が続ぎ、関係市町が距離按分により赤字の一部を助成してきた。他部門の黒字で補填されてきたが、昨今のコロナ禍により収益悪化に歯止めがかからず、会社存続の判断として、今回路線の一部が廃止される事となった。

路線確保を中国バスと調整中

①路線の再編に関する申し入れを本年1月末に受け、2月上旬に福山市、府中市と協議を行い、3月上旬には、県主催の会議へ参加し、路線の存続要望と

今後の対応について協議した。

また、廃止路線について、特に影響を受ける高校生の通学手段の確保に向け、事業者と協議を進めてきました。

②代替策について、現在中国バスと協議を続けています。

③廃止路線全てに代替策を用意することは困難だが、福山方面へ通学で利用されている路線は、影響が大きいので、ダイヤ改正などにより対応できないか調整を行っている。

木野山

①中国バス路線再編の中で路線変更と②町側で現在運航している町営バスと

タクシーの利用形態の変更、

の二つの対応策があると思うが、どうする。③また、財源はどのくらい必要か。

小島巡回路線は難しい

瀬尾総務課長

①高校生のバスについては、西回り便は代替案は今のところ出ていない。東回り便はJR福塩線と接続できる路線の確保を中国バスと調整を行っている。概ね了承の方向で動いている。

小島を巡回する路線は現路線の変更ではなく新路線となる為難しい。運行に係る補助

金要件は複雑であり、財政負担も伴い、ハードルが高い。引き続き要望を行いたい。

②町としての対応策は、財源の問題もありなかなか見つからない。

タクシーの利用は町内事業者に協力して頂き、例えば小島を巡回出来る体系を作るとか、具体化できるものが有るかもしれない。

町営バスの路線新設は、利用がこの間まったく無かったという状況もあり、もう少し状況を見極め対応したい。

③町からの中国バスに対する財政的支援は1400万円程度です。

関係する福山市府中市ともに廃止はやむを得ないと言っており、また県からの中バスへの増額支援も見込めません。そうなると、廃止される4路線の維持には、この路線に係る中国バス赤字部分の全額を本町で負担せざるを得ない事となります。

今後は路線の廃止により補助金額が軽減できた部分をどのように有効活用するか、もう少し検討していきたい。

学力学習調査で判明した課題と対応

学力・学習状況調査は、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施されなかったが、本年度は1カ月遅れの5月27日実施された。「小学校6年生、国語・算数、中学3年生、国語・数学」の問題には、新学習指導要綱に基づき判断力・思考力を要する領域について重点的に出題された。

また、児童生徒に対する質問調査では臨時休校中の学習・勉強への不安などについて、学校への質問調査では臨時休校中の家庭学習やICT活用、新型コロナウイルス感染症の影響などについても調査されている。

- ①教科による調査結果
- ②それ以外の各質問に対する本町の状況・判明した課題に対する今後の対応策について、伺う。

校ごとに詳細な分析を行い今後の指導に生かしていきたい。

約6割の生徒が不安

臨時休校中、勉強については約6割の生徒が不安に感じていたと回答。

中学生では計画的に学習に取り組んだ、小学生では規則正しく生活したが県平均を上回った。課題への対処では、小学生は家族に聞く、中学生では自分で調べたが高い数値を示している。

ICT活用については4月の臨時休校時点ではタブレット等は未整備だった。

家庭学習については学習を保障するためプリント配付や課題を課すなどの取組みを行い状況把握に努めた。

コロナウイルス感染症の影響は大きな変化はないと回答だったが様々な面で影響があったと思っている。

木野山 小学校で県平均を下回ったがどうお考えか。

教育長 過去にこういった例はなかった。授業の仕方の問題なのか、落ち着いて授業のできる雰囲気であったか、各学校で分析されると思うが、今後どう分析結果を生かすか早急に取り組む。

木野山 対面で子供たちに接し、丁寧に指導することが将来主体的な生き方や社会で力の発揮できる人材に繋がる。コロナ禍の中で、学習機会を確実に確保することが出来ているかも課題だ。

教育長 臨時休業になればオンライン授業もやむを得ず効率的なタブレット活用を考えるが、常にタブレットを中心にした授業展開をするという考えはない。

対面で子供たちと接しながら授業を進めて行くという形を今後も続けたい。

県平均を中学校は大きく上回ったが、小学校では下回った

教育長 結果は、小学校においては、平均正答率、国語63.0%、算数68.0%です。中学校においては、国語74.0%、数学61.0%です。

県平均と比較して、小学校では、国語マイナス3.0%、算数マイナス2.0%であり、県平均を下回った。中学校では、国語プラス9.0%、

読むことデータの活用課題

数学プラス4.0%であり、県平均を上回ることができた。特に国語においては、県平均を大きく上回っている。

平均正答率からみると、小学校国語では読むこと、算数ではデータの活用課題がみられる。中学校国語では、書くこと、数学では図形が特に高い正答率となっている。今後、学力の定着に向け各学

令和3年度全国学力テスト公表正答率

小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学		
1	秋田	71	1	東京	74	1	石川	63
	石川	71		石川	74		2	神石高原町
3	青森	69	3	富山	73	2	福井	61
	福井	69		福井	73		3	秋田
5	東京・京都	68	3	京都	73	3	東京	60
34	神石高原町	63	39	神石高原町	68			
	全国(公立)	64.7		全国(公立)	70.2		全国(公立)	57.2
	全国(国公私立)	64.9		全国(国公私立)	70.3		全国(国公私立)	57.5
10	広島県	66	13	広島県	70	12	広島県	57